

# BioGaia®

☆共JBN 外0625 (産業、医療) (10・6・15)

【産業担当デスク殿】39977

◎痙痛乳児の泣く時間が減少 ロイテリ・プロテクティス

【ストックホルム15日PRN=共同JBN】バイオガイア社は、L・ロイテリ・プロテクティスを補給投与された乳児グループでは、わずか1週間の投与で74%が泣く時間が減少したのに対し、偽薬グループでは38%だったことを示す新たな研究が報告されたと発表した。研究終了時には両グループの間で大きな違いがあった。

(Logo: <http://www.newscom.com/cgi-bin/prnh/20100615/394961>)

こうした結果は痙痛（激しい腹痛）に関するこれまでの研究結果と合致しており、痙痛の乳児でのL・ロイテリの効能を確認するものとイタリアのトリノ大学レジナ・マルゲリータ病院小児科のフランチェスコ・サビーノ医師は語っている。

マルチメディアのニュースリリースを見るには以下をクリック。

<http://multivu.prnewswire.com/mnr/prne/biogaia/42443/>

このダブルブラインド、偽薬対比研究では、小児痙痛であることが確認された乳児50人が無作為で2つの治療グループに分けられた。それぞれ21日間連続のL・ロイテリ・プロテクティスの1日108CFU投与か偽薬投与である。

主な結果は、21日目までに泣く時間が平均で痙痛の境界線である1日3時間以下に減ったことである。第21日にはL・ロイテリ・プロテクティス補給投与乳児の84%は痙痛が治っており（泣く時間が3時間以下に減少）、偽薬グループの43%に比べて統計的に意味のある高い数字だった ( $p < 0.05$ )。

研究開始時の泣く時間は、平均でプロバイオティクス・グループが370分、偽薬グループが300分だった。第7日にL・ロイテリ・プロテクティブ・グループの74%の泣く時間が95分に短縮され、偽薬グループでは185分に短縮された ( $P=0.082$ )。研究終了時には、1日に泣く時間の平均で両グループ間に大きな違いがあり、L・ロイテリ・プロテクティブ・グループでは35分だったのに対し偽薬グループは90分だった ( $p < 0.05$ )。

泣く時間の平均が50%以上減少した場合を補給投与に反応したとすると、反応した乳児の割合は研究の第7日、第14日、第21日の段階で、L・ロイテリ・プロテクティブ・グループが偽薬グループに比べ大幅に高かった。

L・ロイテリについてのデータは説得力があり、このプロバイオティクスについての初期の

データを偽薬対比研究で確認するものである。これらの結果は疝痛の乳児の治療法に影響を及ぼすと信じているとサビーノ医師は述べている。

この研究は、イスタンブールで2010年6月10日に開催された欧州小児栄養消化器肝臓学会（ESPGHAN）で報告された。

バイオガイアはバイオテクノロジー会社で、健康への利点が証明されているプロバイオティクス製品を開発、販売している。製品は主にプロバイオティクスで健康改善効果がある乳酸菌のラクトバチルス・ロイテリに基づいている。親会社のバイオガイアABのクラスB普通株は、ナスダックOMXストックホルム証券取引所のスモールキャップリストで取引されている。

<http://www.biogaia.com>

(了)